

北九州

市議会だより

昭和62年4月15日 No. 97



八幡西区役所横「犬の詩」

三月定例会

昭和六十二年三月北九州市議会議定例会を、三月六日から三月十八日までの十三日間の会期で開きました。

今議会では、議案の審議に先立ち、任期満了に伴う常任委員会委員の選任と本市の当面の重要な課題を調査研究するための特別委員会の設置及びその委員の選任が行われました。

今回、市長から提出された議案は、四月から六月までの三か月間の経費を計上した六十二年度北九州市暫定予算など五十五件でした。

これらの議案を、それぞれ所管の常任委員会に付託し、慎重に審議した後、三月十八日の本会議において、すべてを可決しました。

また、議員から提出された議案のうち、意見書は十件で、そのうち四件を可決し、六件を否決しました。

昭和62年度各会計暫定予算を可決

4〜6月分総額一、七四五億円



末吉市長
あいさつ

私は、このたびの選挙で市民の皆さんのご声援を受け、北九州市長に就任いたしました末吉興一であります。

本日、市議会に出席できましたことは、誠に光栄に存じます。

百万都市としての基盤整備など大きな成果を残されました谷前市長の後を引き継ぐことになりましたが、いまだ未熟な者であります。

議員各位のご理解とご協力を得ながら、精いっぱい努力をいたす所存であります。

今後、新しい二十一世紀の北九州市を目指し、経済の活性化、新しいまちづくり、福祉の向上など、市民の皆さんにお約束したことを全力を尽くして、その実現のためにまい進する覚悟であります。

幸い、あの公害のまちから全米一の住みよいまちに生まれ変わったピッツバーグというすばらしいお手本もあり、本市にはこれだけ恵まれた立地条件と長い間の技術の集積があります。

百万市民の力を結集すれば、北九州市は、必ず新しいまちとしてよみがえると信じます。

議員各位の絶大なるご支援、ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。私の市長就任のごあいさつとさせていただきます。

決まった主なもの

市長提出

◎六十二年度北九州市暫定予算
一般会計 九三二億七、二〇〇万円

普通特別会計 五三二億九、五四六万円

企業会計 二八〇億九、七五六万円

総額 一、七四五億六、五〇二万円

◎六十二年度北九州市補正予算
一般会計 三四億一、三〇四万円

普通特別会計 (減額) 一四億二、一七二万円

企業会計 三億七、〇九〇万円

総額 一六億二、〇四三万円 (減額)

◎久岐の浜ニュータウン公営住宅
建設工事請負契約締結
契約金額 一四億六、一五〇万円

◎北九州市国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険料の負担の適正化等を図るため、保険料賦課限度額の引上げ及び罰則規定の整備を行うもの

◎中島橋橋梁整備事業に係る上部
工事委託協定締結
委託金額 六億六、九八八万円

◎新門司地区岸壁等建設工事委託
契約締結
委託金額 三億二、一〇〇万円

◎北九州市社会福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
下富野児童センター、東部勤労婦人センター及び桃山納骨堂の新設等に伴うもの

◎北九州市自動車事業使用料及び手数料条例の一部改正
市営バスの運賃の改正(二区一五〇円、三区一八〇円、四区以上は一八〇円に一区増すごとに二〇円加算)及び一括契約定期旅客運賃の新設等を行うもの

◎土地の取得
小倉南区大字志井に所在する土地を北九州職業訓練短期大学校建設用地として買入れるもの

面積 六万一、五四一・四一平方メートル
金額 二二億八、二四二万円

議員提出

◎特別委員会の設置
本市が直面している重要な課題について調査研究するため、六つの特別委員会を設けるもの(各委員会及び委員名は後掲)

◎売上税(大型間接税)導入、マ
ル優廃止に反対する意見書

◎円高不況克服、雇用の安定確保
に関する意見書

◎食糧管理制度の堅持と農業再建
に関する意見書

◎雇用の確保、創出と円滑な産業
構造の転換に関する意見書



基本的な政治姿勢は

議員 市長は、今後、北九州市の市政執行の最高責任者として市政を担当しますが、基本的な政治姿勢をお聞かせください。

市長 市長選挙の立候補に際し、基本的な政治姿勢について、三つを掲げました。

一つは、二十一世紀へ挑戦する積極的な市政の推進です。

二十一世紀を迎えるためには、現状へのためめ挑戦と新しいまちづくりへの意気込みが必要で、新しいまちづくりには、市民の理解と協力が不可欠で、特に若者の行動力とアイデアには、大いに期待しています。

また、活力あふれる都市の実現に向けて、感性と創意に満ちた女性の意見を市政に積極的に取り入れていきたいと考えています。

次は、人間中心の活力あふれる市政の推進です。

これは、美しい自然と快適な環境の中で芽生えつつあるコミュニティを育て、また、福祉を大切

本会議で十二人の議員が、市長から提出された議案に対する質疑や市政全般についての質問を行いました。

その中から主なものを取り上げました。

にして、人間中心の温かみのある市政を推進していくことです。

最後に、一党一派に偏らない、市民のための市政を執行していきたいと思っております。

この三つの基本的な政治姿勢を堅持していく考えです。

経済活性化への取り組みを

議員 円高不況等により、産業を取り巻く状況は、非常に厳しいものがあります。

本市経済の活性化を図るため、新規企業の受け入れ体制や既存企業の撤退防止等について、どのように取り組むのですか。

また、市長は、企業とトップ会談を行うとのことですが、どのような考えで臨むのですか。

市長 企業誘致については、空港、道路体系の整備等課題はありますが、企業誘致の体制や仕組みを見直し、情報の早期収集、情報提供等、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

また、本市の浮揚を図るには、既存の企業の撤退防止は重要な問題であると思えます。

工場の閉鎖や移転は、大部分が構造的不況に起因するもので、行政としての活動には一定の限界があると思えます。

しかし、企業の動向については情報を早く察知するとともに、きめ細かな相談に応じ、必要な手段を講じながら、撤退防止等に取り組んでいく覚悟です。

企業のトップとの会談については、本市に大きな影響力をもっている企業と直接、情報や意見の交換を行い、雇用の確保をはじめ産業構造の転換、新分野の開拓等の問題について協力要請を行っていきたく考えています。

Eイズ対策は

議員 後天性免疫不全症候群、いわゆるEイズが、わが国においても発生し、市民に不安を与えています。

予防や感染者の早期発見等、Eイズに対してどのような対策を講じていますか。

衛生局長 Eイズ対策については、人権の確保とプライバシーの保護を前提に、五十九年十月から民間病院を含む市内八か所の病院の協力を得て流行予測を行っており、六十一年六月には各保健所に相談窓口を開設し、相談を受けています。

また、保健所で採血した血液は、県衛生公害センターに送り、検査することになっています。

しかし、最も重要なことは、Eイズに対する正しい知識の普及を図ることです。

今後の対策については、今国会に上程される予定のEイズ予防法(仮称)に基づいてすすめていきたいと考えています。

国際居住年に向けて

議員 本年は国際居住年であり、住水準、住環境の向上を考えるよい機会であると思えます。本市では、国際居住年に当たりどのような取り組みをしていますか。

建築局長 国際居住年は、国連総会宣言により、世界各国が住宅や住環境の改善をすすめることを目的に設けられました。

本市においては、昨年十二月に北九州市国際居住年推進本部を設置し、さらに、本年二月には、民間諸団体で構成される北九州市国際居住年を進める会が設立され、活動しています。

具体的には、三月十九日からのトータルリビングショーを皮切りに、十月には住宅祭等の各種催し物を集中的に実施するなど、年間を通じて市内各地でイベントを行っていきたく考えています。

国際化への教育施策は

議員 今日の社会は国際化が急速にすすんでおり、国際性豊かな人材の育成が必要となっています。そのためには、教員の海外研修を充実させ、資質の向上を図ることが大切であると思えますが、どのように考えていますか。

また、外国語教育を充実させるため、英語を母国語とする外国青年を招致することですが、具体的な計画はどのようなものになりますか。

教育長 本市では、従来から教員の海外派遣研修について積極的に取り組んでまいり、五百十六人の教員を派遣してきました。

六十二年度には、ソニー教育振興財団の援助を受け、姉妹都市のノーフォーク市との間で、教員の交換研修を行う予定です。

それぞれ五人の教員が、ホームステイをしながら学校の視察を行い、教育現場での問題点等を協議して相互理解を深めるものです。

また、外国青年の招致事業は、自治、外務、文部の三省で外国青年を自治体に招き、語学指導等を通して国際化をすすめるものです。本市では、六十二年度に英語圏の五人の外国青年を招致して、戸畑商業高校や配置を希望する中学校において、なまの英語で授業を行う予定です。

これらの事業は、語学への意欲や関心を高め、外国との親善を促進するなど国際交流への目を開くことになると期待しています。



国際都市へ向けて

議員 最近では、本市においても、姉妹都市との交流をはじめ、国際交流が活発に行われています。本市を国際都市として大きく発展させるため、どのような構想をもっていますか。

また、小倉駅北口地区の北九州国際イベントゾーン（仮称）と八幡東区平野地区のやはた国際ビレッジ（仮称）が、自治省のリーディングプロジェクトに指定されましたが、今後の計画についておたずねします。

市長 当面、取り組むべき課題としては、リーディングプロジェクトにも採用された両地区を、国際交流の拠点として、早急に整備することです。



リーディングプロジェクトに指定された平野地区

長期的には、本市がもつ産業施設や高度な産業技術の集積を生かし、日本には例のないユニークな国際研修技術都市を構築し、さらには、外国の大学を誘致し、国際色あふれる北九州市を目指したいと考えています。

企画局長心得 リーディングプロジェクトは、本年度自治省において設けられた制度で、地方公共団体が計画的に実施する事業について積極的な支援をするものです。本市においては、すでに本年一月に、地域代表者、学識経験者等による国際交流基盤整備計画策定委員会を発足させました。

この委員会では、国際化に対する理念を整理し、中長期的な展望に立った両地区の開発ビジョンを夏頃までにまとめる予定です。

※リーディングプロジェクト
自治省が、二十一世紀に向けて、重要な地域政策課題である国際都市整備等に先導的に取り組む自治体の事業に対し、財政面等から積極的に支援するもの

被害の状況は

— 白島石油備蓄基地 —

議員 本年二月三日、北部九州に発生した異常寒波による大しけのため、現在建設中の白島石油備蓄基地に被害がでていますが、その原因と状況をお聞かせください。また、復旧工事等の見通しは、どのようになっていますか。

港湾局長 白島石油備蓄基地は、国の基準に基づき、安定計算や水理模型実験等を行い、安全性の確認をして、百年確率の波にも耐え

られるように設計されています。

また、市施工分については、計画どおりに資材、工事の管理、検査等を実施しており、備蓄会社等の施工分についても、同様に実施しているとの報告を受けています。今回の被害は、施工途中のところ

ろに、異常気象による高波浪が襲来したために起こったものです。

被害状況は、市施工分では、北護岸の一部が崩れ、消波ブロックも一部沈下しています。備蓄会社施工分では、防波堤のケーソンの損壊一函、水没七函、位置がずれたもの四十八函等となっています。現在、総合的な原因究明調査を財団法人沿岸開発技術研究センターに委託して、多角的な視点から検討をすすめており、その結果に応じて、復旧工事等に対処していきたいと考えています。

このプロジェクトが、今回の被害で大幅に遅れるようなことになると、地元の工事関係者等に及ぼす影響が大きいので、原因究明を急ぎ、関係先とも十分協議して、できるだけ早く工事がすすめられるように働きかけていきたいと思っています。

※ケーソン
主として鉄筋コンクリートで造った箱状の構造物で、あらかじめ地上で製作した後に、付加荷重によって水中に沈下させて設置する本体又は基礎構造物

観光開発で活性化を

議員 本市の活性化対策の一つとして、観光開発があります。

特に、門司区の恵まれた自然、



門司鉄道博物館

建築物が、現在でも残されています。このうち、門鉄会館等については、貴重な観光資源として、保存、活用されるよう、関係者に働きかけていきたいと思っています。

初任者研修制度の内容は

議員 本市では、六十二年度から新採教員の初任者研修制度の試行を実施しようとしています。この制度について、どのように考えていますか。また、試行の内容はどのようなものですか。

教育長 この初任者研修制度は、新採教員が自信をもって円滑に教育活動を行えるよう、実践的指導力、使命感と幅広い知見を養う目的で設けられるものです。

本市では、昨年から校長会の意見を聞くなど教育委員会で検討を重ねており、六十二年度から試行を実施したいと考えています。

具体的には、新採教員のうち試行対象校に配置される約三十五人を対象に、週二日程度指導教員がマンツーマンで指導を行い、また、宿泊研修、教育センターでの講義、演習等を行う予定です。

新採教員は、授業がうまくできない等の悩みをもっており、研修を通してその悩みを解決することは、新採教員に大きな自信となり、教育現場に与える効果は大きいと期待しています。

なお、研修に当たっては、教員の自主性や創造性を生かし、また、児童、生徒の父母に理解と協力を得られるような形で実施したいと考えています。

文化遺産を生かし、大胆な観光開発を行うべきであると思えますが、どのように考えていますか。

また、国鉄財産のうち、門鉄会館等の優良な建築物を国鉄と交渉し、観光資源として活用する考えはありませんか。

経済局長 門司区には、桜、つづじの名所である和布刈地区や関門橋、関門海峡等の恵まれた景観に加えて、港町として、独特な情緒やアンティークな雰囲気があります。

これらの観光資源を生かした観光対策を検討するとともに、下関市とも連絡会議をもち、両市が一体となって、関門地区の観光開発に取り組んでいきたいと考えています。

また、門司港地区には、明治末期から大正初期に建てられた洋風

モデル事業を実施

—老人保健施設—

議員 六十一年十二月、老人保健法が一部改正され、要介護老人のための新たな施設として、老人保健施設が創設されることになりました。

この施設は、これまでの特別養護老人ホームや病院と比べて、どのように違うのですか。

また、本市では、老人保健施設の本格的な導入に先がけて、六十二年度から、老人保健施設のモデル事業が予定されているようですが、その概要をおたずねします。

市長 老人保健施設は、病状が安定期に入った寝たきり等の要介護老人に対して、軽度の医療、看護、医学的な管理のもとでの介護と機能訓練、日常生活のサービスをを行う施設です。

つまり、病院と特別養護老人ホームの機能を併せもち、家庭復帰を主眼とした、本格的な高齢化社会に対応するための施設です。

本市では、小倉北区の南小倉病院が、全国で七か所実施される国の老人保健施設のモデル事業に指定され、現在、準備をすすめています。

民生局長 南小倉病院のモデル施設は、鉄筋コンクリート四階建て、延べ床面積千二百三十八平方メートルで、定員は五十人です。

この施設には、洗顔、理美容、買物、自転車乗降等の訓練ができる生活適応訓練施設のほか、療養室、診察室、図書室等を備えています。

二月臨時会

谷前市長

あいさつ

ただいま、退職申し出にご同意くださいます。誠にありがとうございました。

昭和六十二年二月十九日、北九州市議会二月臨時会を開きました。臨時会において、先に届け出のありました谷伍平市長の退職の申し出に対し、議会は同意しました。この後、議場において、市長のあいさつが行われ、引き続き、市長の退職に対し、議会を代表して、浜田議長があいさつを行いました。

議員各位は、この激動の二十年間、ふつつかな私をご指導、ごべんたつくださりまして、市政を担当させていただきましたことに對しまして、深く謝意を表します。

議長

あいさつ

各位におかれましては、今後、ますます市民の幸せのため、ご健闘あらんことを、心を込めてお祈り申し上げます。

私は、これからも一市民として北九州市に居住し、市民憲章にのっとり、いささかなりとも地域社会に尽くしたいと念願いたしておりますので、相変わらずのご交誼を賜りますようお願い申し上げます。そして、この思い出深い議場を去らせていただきます。

皆さん、お世話になりました。

私は、市議会を代表して、このたびの谷市長の退職に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

谷市長は、政令指定都市の市長としては、最長の五期二十年の長きにわたり、誠実に市政の発展、向上に努めてこられました。

これまでもご労苦に対し、心から敬意を表する次第であります。本当にご苦勞さまでした。

谷市長は、昭和四十二年、世界に例のない、五市の対等合併により誕生した北九州市の第二代市長にご就任されました。当時は政令指定都市としてスタート間もない時期で、合併に伴う難問が山積しておりました。

特に、懸案であった市庁舎問題についても、難産の末に解決され、昭和四十七年には、百万市民統合のシンボルとして、新庁舎を開庁されたのであります。

市長は、就任以来、一貫して、

「市民参加のまちづくり」を行政の基本に据え、いち早く行財政改革に取り組まれるとともに、大都市にふさわしい都市基盤の整備をすすめ、教育文化の振興、福祉施策の充実、強化等に全力を傾注し、「緑多き活力のある産業貿易都市」「心豊かな住みやすい高福祉都市」の実現に鋭意取り組まれてきたのであります。

特に、昭和五十七年には、「緑の都市賞の内閣総理大臣賞」を、六十一年には「日本建築学会創立百周年記念文化賞」を相次いで受賞されたことは、記憶に新しいところであります。

さらに、二十一世紀へ向けての本市の新しい進路として、「さわやか北九州プラン」を策定し、健康都市づくりを柱とした施策を展開してきたところであります。

谷市長のこれまでのご努力は、今後とも市政の運営に大きな支えとなっていくことでありましょう。退職されました後も、市長は北九州市に在住されるとのことであります。今後とも市政のよき先輩として、北九州市発展のためご協力賜りますよう、お願いする次第であります。

どうか、ご健康に十分留意され、これからの人生が実り多きものとなり、ご健康を祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

ありがとうございました。

新議員の紹介

上田 唯之 議員(門司区)
二月八日執行の北九州市議会議員補欠選挙で当選



人事紹介

三月定例会において、次のかたがたが決まりました。(敬称略)

北九州市監査委員

永田 秀雄 渡辺 讓治

堀川水利組合議会議員

田中 幸子

笹尾川水利組合議会議員

和田 利治 田中 幸子

直方市・北九州市岡森用水組合議
會議員

中村 昌雄 村田 孝英

北九州市門司区農業委員会委員

浜田 順治 吉河 節郎

那波 公明

北九州市小倉北区農業委員会委員

谷 良三 福田 淑江

北九州市小倉南区農業委員会委員

山家 節夫 弘友 和夫

下原 廣志 塚内 浩之

北九州市八幡東区農業委員会委員

大坪 郁夫 高尾 新一

北九州市八幡西区農業委員会委員

鷹木 勝治 中野 利幸

議会運営委員会委員

◎委員長 ○副委員長

◎井上 勝二 (自 民 党)

○野口 研一 (民社・市民連合)

吉田 通生 (自 民 党)

本田 政光 (民社・市民連合)

弘友 和夫 (公 明 党)

吉河 節郎 (公 明 党)

下原 廣志 (社 会 党)

村田 孝英 (共 産 党)

渡辺 讓治 (市民クラブ)

常任委員会委員

◎委員長 ○副委員長

Table with 6 columns: 総務財政委員会, 民生水道委員会, 公害衛生委員会, 経済港湾委員会, 建設交通委員会, 文教建築委員会. Each column lists committee members with their names and party affiliations.

特別委員会委員

◎委員長 ○副委員長

Table with 6 columns: 大都市税財政制度確立特別委員会, 都市交通・新空港対策特別委員会, 国際交流基盤整備等特別委員会, 都市再開発・鉱害対策特別委員会, 地域経済活性化対策特別委員会, 高齢化社会問題等特別委員会. Each column lists committee members and their specific tasks.

□全世界配布 □編集 北九州市議会事務局 □印刷 株式会社 天地堂印刷製本所(小倉北区)

※中欄は調査研究事項